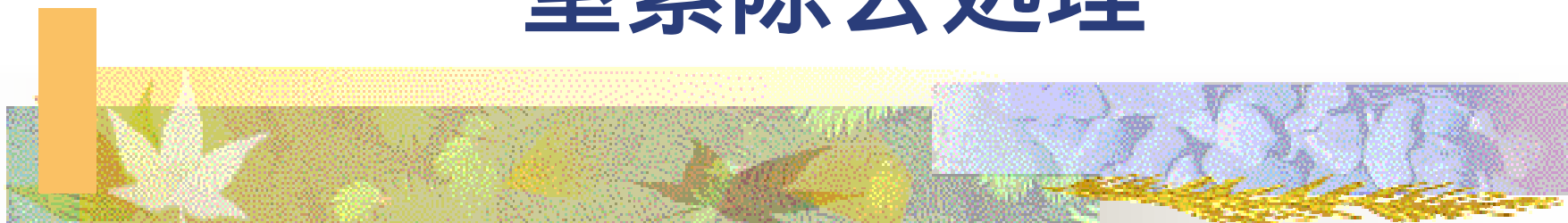
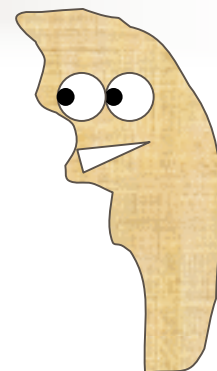
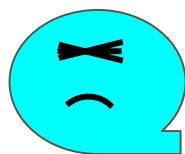
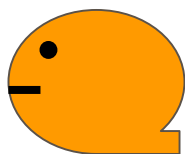
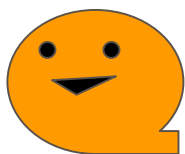


生物 ~ カキ殻式アンモニア性窒素除去処理

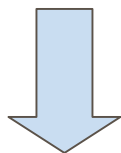


北栄建設株式会社

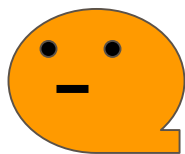
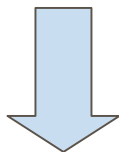


除鉄・除マンガン処理をしている井戸水源でアンモニア態窒素が出ますか？

- アンモニア態窒素が見受けられる

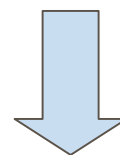


- 塩素処理をしていますか？

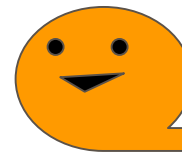


次葉へ

- 窒素は見られない

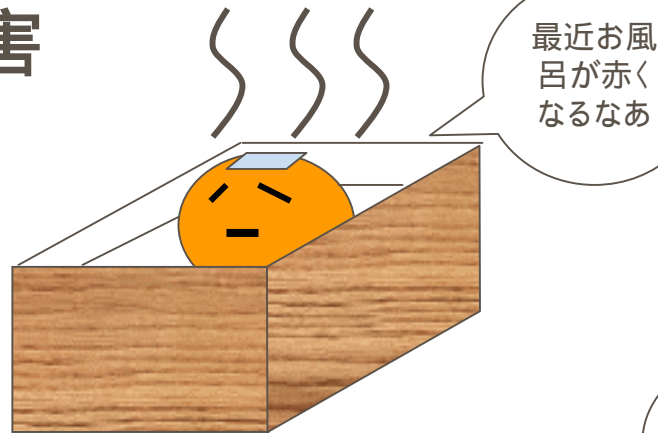


- 良い水源で良かったですね

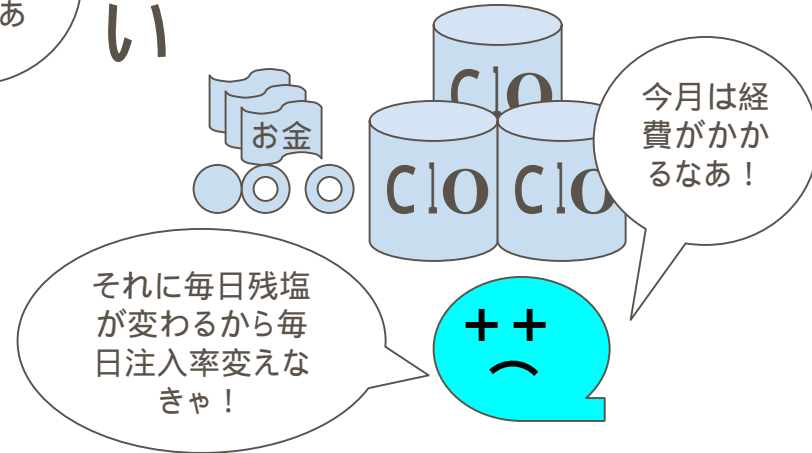


塩素処理で注入量の制御に問題はありませんか？

- 赤水が出る時がたまにある～塩素が有効に効いていないる過障害

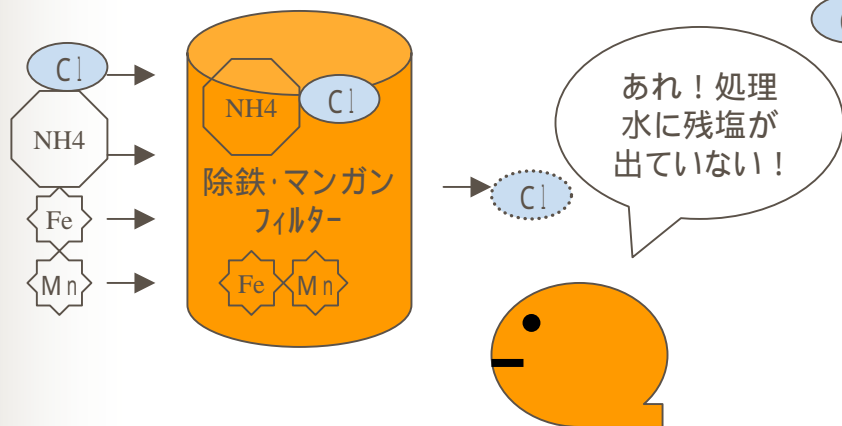


- 塩素消費量に波がある アンモニア態チツソの量の変動～適正薬品量が把握できない

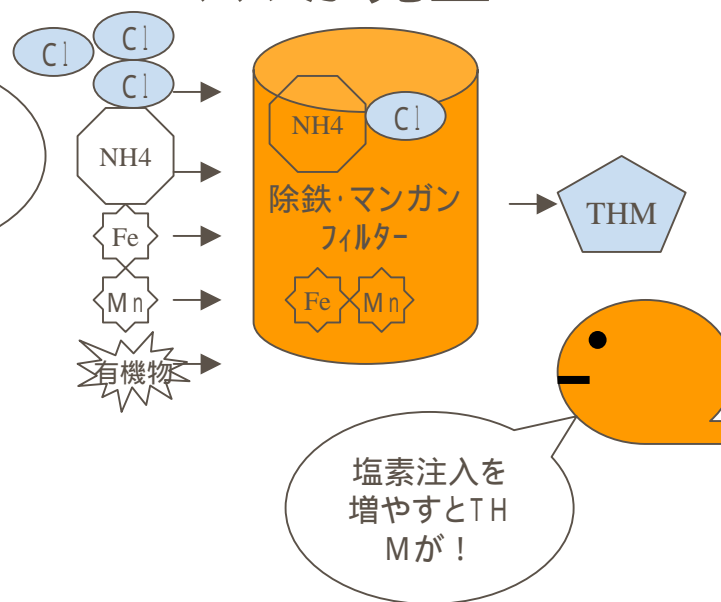


除鉄・除マンガンろ過機と注入塩素の関係がジレンマに陥る場合があります ~ マンガン・鉄・アンモニア性窒素・有機物が原水に共存する場合

- 注入塩素量が少ないとアンモニア性窒素に消費されてしまう

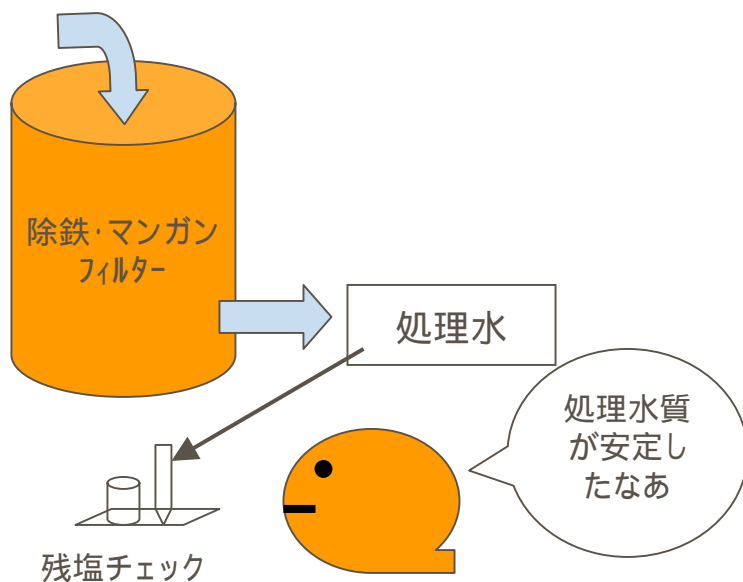


- 注入塩素量が多いとトリハロメタンが発生

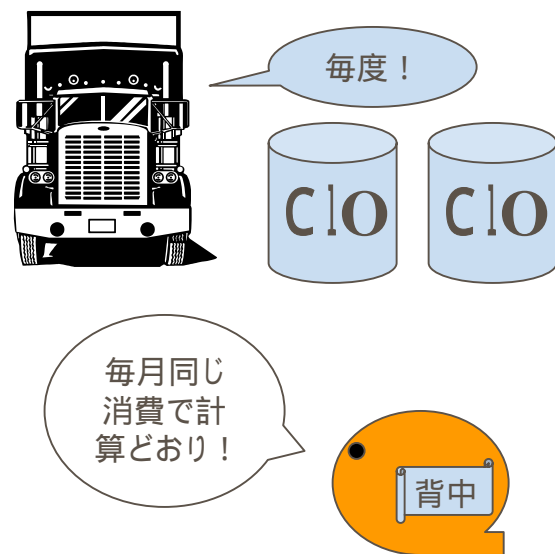


生物処理ならアンモニアを抑制して塩素消費量を一定にしてお且つ除鉄・マンガン装置の負荷を下げられます

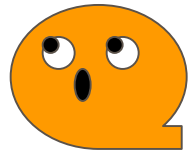
- 除鉄・マンガン処理の安定化がはかれます



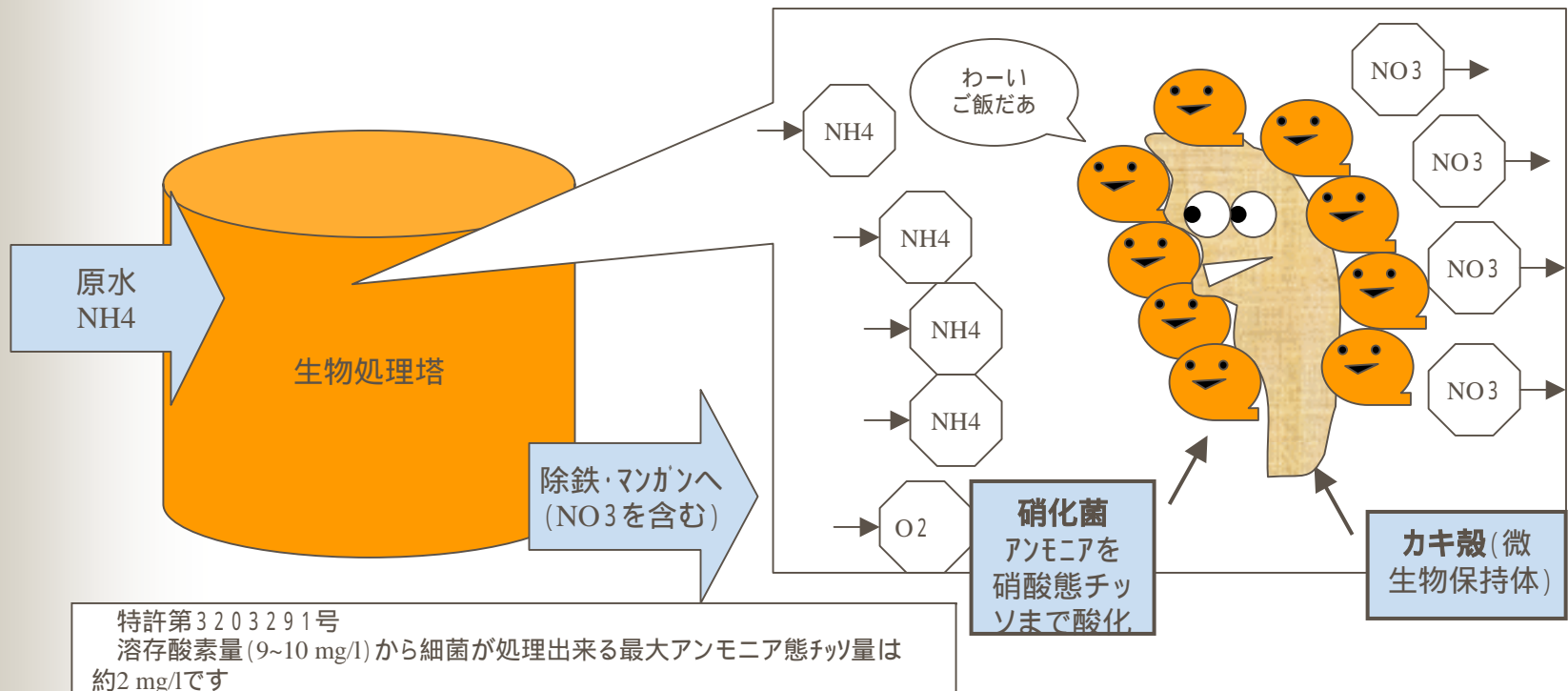
- 塩素処理が有効になり一定化します



生物処理～カキ殻方式の原理は何ですか？

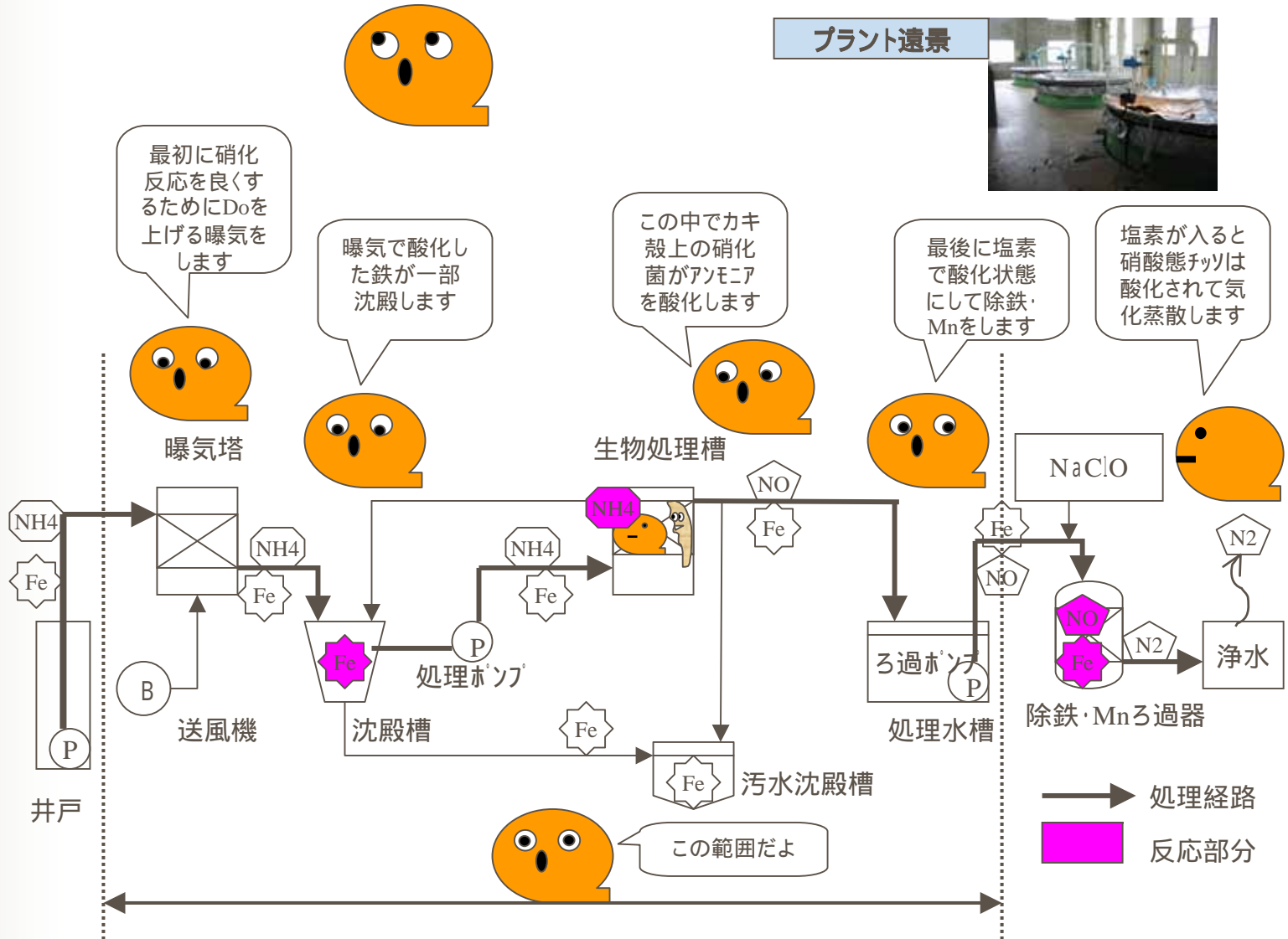


- 粉碎したカキの殻(シェルビーズ)にアンモニアを酸化する微生物をつけてアンモニアを処理(酸化)します

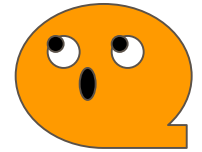


実際のプラントはどうなっているんですか？

プラント遠景



なぜカキ殻を使うのですか？



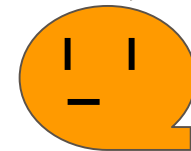
<p>独特の空隙に硝化菌がとりついて繁殖しやすい</p> <p>落ち着くなあ</p>	<p>生成した硝酸態チッソ分がカルシウムで中和される～処理水のランゲリア指数も改善</p> <p>NH_4 NO_2·NO_3+Ca $Ca(NO_3)_2$など</p>	<p>粉碎・加工しやすく粒度管理が楽</p>
<p>活性炭だと・・・</p> <p>鉄分で空隙がつまるよう</p> <p>狭!</p>	<p>硝化菌必須のミネラル分が多い</p> <p>ここに居ると調子いいなあ</p> <p>P, K, Ca, Mg</p>	<p>日本全国で調達可能～養殖貝のリサイクルにもなる</p> <p>現在は新潟・宮城・広島で加工・生産中です</p>

水のPHと炭酸カルシウムが溶解・析出しないときのPH値との差でカルシウムの皮膜の形成されやすさ = 施設の腐植度低下性を表す

お問い合わせは

- 北栄建設株式会社
- 本社〒950 - 8629
- 新潟県新潟市美咲町1 - 23 - 51
- 電話 025 - 285 - 2171
- ファクス 025 - 282 - 2141

お疲れ様で
した！



何匹いるかわかったかな？